

情報誌

ごあいさつ



発行
令和2年9月20日
須賀連合町会事務局
編集責任者 井上利夫
発行責任者 田中義記
須賀2丁目10-30
TEL:28-1997
須賀町 住民数 2,683人
8月現在 世帯数 1,269世帯

令和2年になって数ヶ月「新型コロナウイルス感染拡大」の対応の為いろいろな会合イベントの中止・延期が続いています。秋祭りも中止になりました。

これから先、第2波・第3波がやってくると言われています。感染を予防するためには、基本的な感染予防の実施や不要不急の外出の自粛、「3つの密」を避けること等が重要です。

- 1.密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
 - 2.密集場所（多くの人が密集している）
 - 3.密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為が行われる）
- という3つの条件のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられています。また、屋外でも、密集・密接には要注意。人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すことや歌うこと、激しい呼吸や大きな声を伴う運動は避けま

しょう。（厚生省HP引用）
更に気を付けないといけなのは、例年秋に発生している「災害」（台風・大雨・地震）です。もしこれらコロナと重なる「重複災害」となれば、課題は山積です。

この時期、「地域のこと」「災害の対応」等みんなで考えていきましょう。



神宮寺境内の石造類には供養塔、お地蔵、灯籠などがあります。既に供養塔、お地蔵などはコラムに掲載しましたが、今回は「太神宮灯籠」「常夜灯」「手水鉢」を紹介します。

太神宮灯籠



作画：浦西 徹

江戸時代中期以降、全国的に民衆の神社・仏閣への信仰が高まり、村を挙げて伊勢への参詣旅が盛んとなりました。江戸時代の領主は、年貢などの税金を納めさず事が重要だったため、民衆の誰でもが行くことができずでした。そこで村に講を募り、参詣のお金を貯めて代表者数人がお伊勢に参詣しました。その信仰記念として、各地に太神宮灯籠が建てられました。

須賀（錦織新田）もお伊勢参りの流行にあやかって村の代表者数人が参詣の旅に出かけ、その記念として「太神宮灯籠」を建造し

ました。灯籠の正面に「太神宮夜燈」、左面に「施主 當村中」「世話人 若者中」、裏面に「明和二乙酉年八月吉祥日」と文字が刻まれています。この太神宮灯籠は明和2年（1765）に伊勢参りの信仰としてに建造されたことが分かります。

富田林市内には34基の太神宮灯籠が存在しますが、須賀の灯籠は同市内で3番目に古い灯籠です。建造当時は火見櫓の所に設置されていましたが、戦後に神宮寺境内に移設されました。夜には照明が点され、当時の情景が感じられます。



常夜灯(灯籠)

常夜灯は一般的に仏に対する献灯で仏殿の前に設置されていることが多いです。神宮寺の常夜灯(灯籠)は、現在、お地蔵さんの近くに設置されています。

灯籠の正面中央に「南無□□菩薩(※1)」、右側「享保九辰天(※2)」、左側「二月」、裏面は「神宮寺」と文字が刻まれています。このことから享保9年(1724)2月に建造されたと思われます。な

お、神宮寺の扁額には「戊申(享保13年)となっておりますが、灯籠の建造年から判断すると、享保9年には神宮寺がすでに存在していたと思われる。

※1□□部分は読み取れず。

※2「天」(古文書の漢字)で「年」を表す

※住民の方で常夜灯に刻まれた文字をご存じの方がおられましたら、編集委員までお知らせ下さい。

手水鉢(ちょうずばち)



お寺の仏前などにお参りする際、口や手を清めるための手水を貯めておく鉢です。神宮寺の手水鉢は、およそ50cm三方あり、他寺の鉢から比べると少し小さいです。

また文字は刻まれていませんが、上部縁三方に「盃状穴」(後述)が見受けられ、神宮寺が建立された当時から存在したと思われます。

※【盃状穴】(はいじょうけつ)とは

盃状穴とは石の構造物などに彫られた盃状の穴のことです。子宝祈願、安産祈願として民衆信仰心の表れです。花崗岩の堅い岩質に祈願を込めて石などをこすりつけたと思われる。

全国の石造物にもこの盃状穴が見受けられます。南河内や泉州地域では、お寺や神社の手洗石の縁、石灯籠の基礎部分にこぶし大のくぼみが良く見受けられます。「天からの授り」から両手で受ける形が盃状穴の形と言われています。この風習はいつからかは明確ではありませんが、江戸時代には盛んであったようです。神宮寺境内の太神宮灯籠(基礎台)と手水鉢の縁にこの盃状穴が彫られています。



太神宮灯籠の盃状穴(基礎台縁四方に)



手水鉢の盃状穴(上部縁三方に)

<参考文献>「とんだばやし 灯籠めぐり」(市民大学講座 富田林百景+の仲間たち 著)

情報誌すが発行10号

「情報誌すが」は、10号の節目を迎えました。これも会員各位及び編集から印刷まで携わって頂いている方々のお蔭と思っています。今後の誌面充実に向けて、会員の皆様からご意見をいただければと思います。ご意見は右記の編集委員までお寄せください。

情報誌すが編集委員

編集長：井上利夫 発行者：連合町会長 田中義記
編集委員：谷口均、松永勉、阪井ひとみ、林澄子、楓綾子
編集委員を募集しています。



特殊詐欺が身近な場所で横行しています。

須賀交番から地域の防犯について

須賀交番は、須賀・伏山・金剛伏山台地域を担当しています。日中は当番が常駐しています。また、担当警察官も適時勤務しています。

気を付けていただきたい点

- ①今年の春、須賀・金剛伏山台地区で「わいせつ」事案が発生しています。この犯人は、捕まっています。出来るだけ防犯灯のある表通りを通り、スマホ等での会話しながらの歩行は控えましょう
- ②家を出るとき、玄関の施錠は勿論ですが、部屋を網戸のままにせず必ず施錠してください。
- ③子供に対しての「声かけ」犯罪や変質者の出没がこの時期増えてきます。危険を感じたら、近くの

家に飛び込んで助けを受けるよう子どもさんに伝えてください。

- ④相変わらず、「詐欺」の被害が発生しています。不審な電話等があれば、家族や知人に相談してから対処してください。(一呼吸おくこと)
- ⑤困ったことや相談事は富田林警察署まで TEL:0721-25-1234

コラム・須賀の歴史 神宮寺境内にある「太神宮灯籠」「常夜灯」「手水鉢」



新任校長・教頭・園長先生の挨拶

金剛中学校 校長 小野 扶美彦



本年4月より金剛中学校校長に着任いたしました小野扶美彦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私自身、富田林市の中学校数校にて勤務いたしました。英語を教え、部活動はサッカーを指導していました。たくさんの生徒、

保護者の皆さんと出会わせていただきました。今回、ご縁があり金剛中学校に赴任させていただきましたが、実際初めての学校、校区ですので、あらためて本校の歴史であったり、校区を知りました。校区もさすがに広いというのが第一印象です。

校長室に校区の地図があるのですが、それをよく眺めています。着任早々、自転車で校区を走りました。車でしか通ったことがない大きな道路以外の細い道も走りました。車では気がつかないこともたくさんありました。ぜひ須賀の皆様ともご縁を大切にさせて頂き、金剛中学校の応援をいただけるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。

第二中学校 校長 加藤 靖



本年度より、歴史と伝統ある第二中学校の校長を務めさせていただくことになりました。平素より、須賀地域の皆様には本校生徒が大変お世話になり、深く感謝申し上げます。コロナの影響で臨時休校が思いのほか長引きましたが、改めて「子どもは宝」ということを思い知らされました。今後も学校と地域が連携を

図りながら、これからの世の中をたくましく生き抜く中学生の育成に努めてまいります。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

第二中学校 教頭 武田光二



私は第二中学校に赴任して4年目になります。本年度より、教頭を務めさせていただいております。平素より、地域の皆様には本校生徒が大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

私は「つながる」という言葉を大切にしています。「生徒と生徒がつながる」「生徒と教師がつながる」「保護者と教師がつながる」、そして「地域」とも「つながっていききたい」と考えております。これから、よろしくお願いいたします。

錦郡小学校 校長 阪口 健治



人懐っこい笑顔、挨拶は目を見て返事を返す。こういった子どもたちの育ちは、学校教育だけで担えるものではありません。自然に恵まれ、温かい人々に支えられている地域だからこそ、学びも大きいのだと思っています。登下校時、子ども達の安全を確保する為、大勢の見守り隊の方々のご尽力の姿、素敵な地域だと認識しています。更に子ども達の為努力しようと新しく着任しました阪口です。宜しくお願い致します。

伏山台小学校 教頭 野呂 耕一



この4月の異動で、喜志西小学校より伏山台小学校に赴任してまいりました。赴任早々、コロナ対応に右往左往していましたが、そのような状況の中、子ども安全見守りサポーターの方々はじめ、多くの地域の方々のご協力があり、1学期の終業式を迎

えることができました。大変ありがとうございました。今後も、地域・保護者・学校がより一層連携し、一体となって子どもたちを育てていけたらと思っています。これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

錦郡幼稚園 園長 奥野 恵一



この4月より園長として着任しております奥野恵一です。平成23年度より28年度までの6年間、錦郡小学校の教頭、校長として勤務しておりました。多くの方々に温かく接していただき、何かとご支援をいただいております。この小学校区で、また子どもたちの教育に関わらせていただくことを大変嬉しく思っております。

本園は、園庭に「ビオトープ」がある自然豊かな幼稚園です。ビオトープとは地域の野生の生き物が住む生息空間のことです。子どもたちが試行錯誤して作ったビオトープには、カエルやヤゴ、蝶など地域のいろいろな生き物が集まってきます。サナギから蝶になる瞬間に出会えるなど、日々図鑑では学べない実体験を存分に味わっています。「豊かな感性と思考力の芽ばえ」を目標とし、地域の環境や地域の方々とのかかわりの中で、「自然を愛し、心豊かに、たくましく生きる優しい子どもの育成」に全力をあげて取り組んでまいります。今後ご支援のほどよろしくお願いいたします。

コロナに負けない子どもたち

各校新しい生活様式を意識して新型コロナ感染拡大を防止するためにマスク着用・3密防止・手洗いの励行など持続可能な対策を実施しています。

第二中学校



●教室に張り紙



●密を避けて朝礼

金剛中学校



●ライブ配信



●体育祭の団カラー各学年の組み合わせ抽選



●体育祭の団カラー抽選の順番を決めるためのゲーム

錦郡小学校



●登校風景



●給食時は、少し空間を空けて



●マスクの着用、こまめな手洗い・うがい

伏山台小学校



●ソーシャルディスタンスに気をつけて朝礼



●新しい生活様式の授業



●正しい手洗いを学ぼう

公立幼稚園園児募集中

「始まります！3年保育！！」

ただ今、令和3年度入園届交付中！



錦郡幼稚園

令和3年度から3年保育が始まります！給食もはじまる予定です。それに伴い、2歳児親子分離広場（お子様だけを預かる広場）『いちご組』と3歳児親子分離広場『れもん組』を開催してま

す。れもん組は毎日あります。（基本）詳しくは、お電話かホームページをご覧ください。（TEL：0721-24-3306）



伏山台幼稚園

広い園庭と「森遊び」アヒルやウサギとの触れ合い等、自然環境を生かし一人一人の「やってみたいな！」先生や友達と一緒に「楽しいな！」という気持ちを大切に保育しています。

親子の広場、2・3歳児母子分離広場も行っていますので一度体験してみてください！詳しくはホームページをご覧ください。

